

知って考えよう

これからの

公共交通

運転手不足や利用者数の減少、燃料費・物価の高騰などの影響で、バスをはじめとする公共交通機関は厳しい状況に直面しています。今回の特集では、公共交通を守るための取り組みを紹介します。

詳細 都市交通課
☎ 211-2492



公共交通の
現状は？

多くの皆さんが
思っていること、
実際の市の状況を見ていきます。



バスやタクシーが
少なくなっている



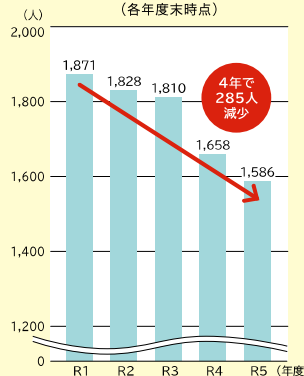
深刻な運転手不足などによつて、運行できるバスやタクシーの台数が減少しています。特にバスでは、やむを得ず減便や路線の廃止などを行っています。

維持するために、
市は支援を
しているの？

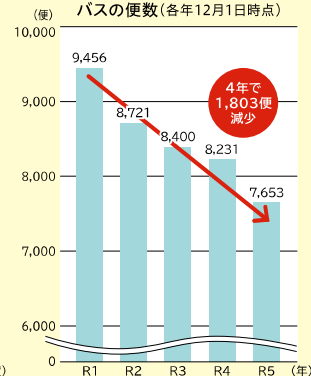


市では、バスの運行に対する補助金を、生活に必要な公共交通を確保するために路線バス事業者へ交付しており、その金額は増加傾向にあります。一方で、現在は深刻な運転手不足によって減便や路線の廃止が生じているため、補助金の交付以外の対策にも取り組んでいます。

市内のバス運転手の人数
(各年度末時点)



市内のみを運行する1日当たりの
バスの便数(各年12月1日時点)



参考:札幌市公共交通協議会資料

運賃が
値上がりするの？



利用者数の減少や燃料費・物価の高騰により悪化している経営状況の改善と、人材の確保に つなげるため、運賃の値上げを予定しています。

交通機関	時期	運賃(大人)
路線バス	12/1(日)から	1区 210円 ▼ 240円 (+30円)
		2区 240円 ▼ 270円 (+30円)
路面電車		200円 ▼ 230円 (+30円)

※子ども運賃や定期券なども値上げを予定
※路線バスは他の区間も一部値上げを予定

地域公共交通計画を策定します

現状を踏まえ、市の公共交通を守っていくために、バスや路面電車などの交通事業者、利用者団体、有識者、市などの行政機関で構成する札幌市公共交通協議会で検討を進め、計画を策定していきます。

専門家の 視点

公共交通協議会の
吉田 樹会長に
聞きました



福島大学人文社会科学群経済経営学類教授。主に地域交通政策の研究をしており、全国の公共交通に関する協議会などに委員やアドバイザーとして参加している。

バスは日常を支える 重要な交通手段

札幌にはさまざまな公共交通機関がありますが、バスは広い範囲の移動を支える重要な交通手段だと考えています。バスがないと、自家用車を利用しない場合の交通手段が減ってしまうほか、自家用車の利用が増えて、排気ガスによる環境への悪影響が広がる可能性があります。全国的に路線バスの運転手不足が深刻になる中、どうしたらサービスを続けていけるのかを大きなテーマの一つとして協議会で検討しています。



公共交通を守るために

市の公共交通網を守るためには、それぞれの公共交通の役割分担を明確にし、バスを効率的に走らせる必要があります。例えば、バスと地下鉄で路線が重なる部分は地下鉄に任せて、バスは地域と地下鉄駅を結ぶ路線をしっかりと維持していく。どうしてもバス路線の維持が難しい場合は、大型免許が不要な小型の車両を使った交通手段に置き替えるといった方法も考えられます。また、公共交通網の維持には、皆さんに利用してもらうことも欠かせません。将来にわたって残していくためには、積極的に使っていただきたいです。

公共交通網の維持に向けて

現在策定中の地域公共交通計画では、市内の公共交通網を維持するために、各公共交通機関の役割分担や運行の効率化を図ることとしています。ここでは、計画案の一部を紹介します。

地下鉄・JR

公共交通網の基軸

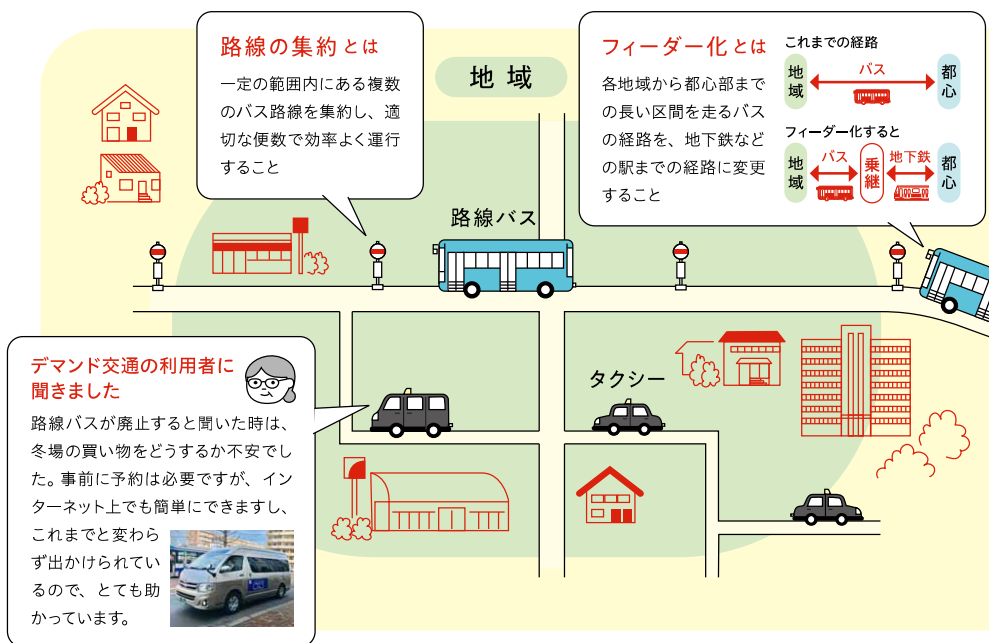
一度に多くの人数を運べる交通機関。今後も、市内や周辺都市の拠点間のほか、都心部への移動を支えていきます。



路線バス

身近な移動を支える

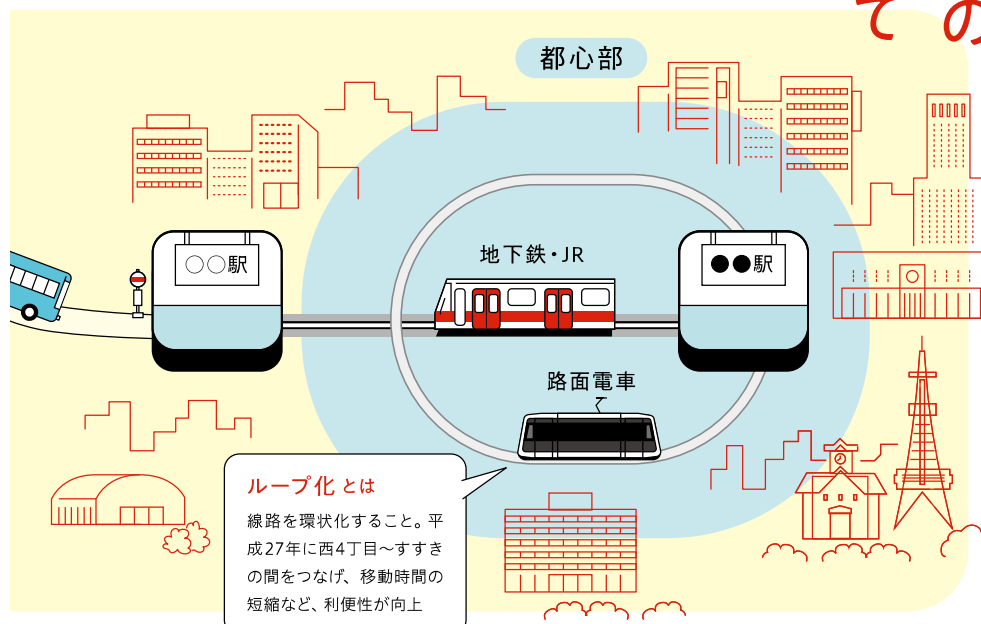
地域に密着した交通機関。運転手不足などにより、バス路線の維持が困難な場合は、利用者数や地域の状況を考慮し、路線のフィーダー化や集約による効率化を図ります。やむを得ず路線が廃止され、周辺に代わりの公共交通機関がない場合は、市が代替交通の導入を検討し、地域の交通手段を守っていきます。また、引き続き運転手確保や路線維持への支援も行います。



タクシー

機動力が高い移動手段

個別の目的に合わせて利用できるのが特長。今後は、代替交通の導入を検討する際の一つの手段として、同じ目的地に向かう複数人が同乗する乗り合いタクシーと呼ばれる新たな運行方法も考えていきます。車両の大きさや運行経路は、利用状況などに合わせて地域住民の方と協議しながら進めます。現在は、デマンド交通という、乗り降りする停留所と時間を事前に予約して利用する乗り合いタクシーの実証実験を、手稲区と南区で行っています。



路面電車

都心部の利便性を高める

二酸化炭素排出量の少ない、環境に優しい交通機関。ループ化により、都心部とその周辺の行き来がしやすくなっています。今後も、沿線地域のにぎわいづくりに貢献しながら、生活の利便性を高める役割を担っていきます。

計画を策定して さまざまな取り組みをします

公共交通をより使いやすくし、将来に残していくために
取り組んでいくその他の内容の一部を紹介します。

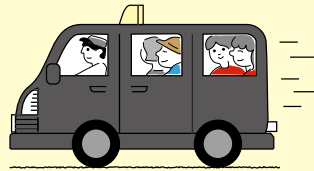
バス運転手の魅力を発信

市と交通事業者が連携して、路線バス運転手の確保に向けた取り組みを推進。ホームページや動画、SNS、学生向けの情報発信などを通して、運転手の声や仕事の魅力を伝えます。



地域の移動手段確保を支援

運行する時間帯や目的地などの個別の要望に応えられる公共交通機関がない場合に、地域住民の方が中心となって乗り合いタクシーなどの新たな交通手段を導入する取り組みを、市と交通事業者が支援します。



運賃の支払いをより便利に

タッチ決済に対応するクレジットカードやデビットカードなどで運賃を支払えるように検討。実証実験として、来年春に、全ての地下鉄駅にタッチ決済ができる改札を導入します。

バリアフリー化を推進

乗降口の段差が少ない路線バスや路面電車の導入などを推進。地下鉄駅やバスターミナルなどのバリアフリー化も進め、より多くの人が公共交通を使いやすいようにしていきます。



計画案への意見を募集します

8/19(月)から区役所、市役所5階都市交通課、ホームページなどで配布する計画案をご覧の上、9/17(火)(必着)まで



市では皆様のご意見を聞きながら、交通事業者と連携して、公共交通網の維持に取り組んでいきます。市内の交通手段を守るためにも、公共交通の大切さを考え直し、積極的に利用していきませんか？



直接届く 感謝の声が やりがい

高校生の頃に、通学で使っていたバスの運転手を友人の父がしていて、お客さんに丁寧に接する姿が職人のようにかっこいいと思い、運転手を目指しました。今は、皆さんに直接「ありがとう」と言ってもらえた時がとてうれしいですね。バスに乗られる皆さんとの出会いの他にも、運転する車両の状態にしっかりと気を配り、安全な運行に力を注げる場所にもやりがいを感じます。



皆さんと つくり上げる 公共交通

路線バスは、立って乗る時はつまり革などにつかまる、降りる時はバスが完全に止まってから立ち上がるといった、皆さんの協力があるからこそ安全に運行できる乗り物で、皆さんと一緒につくっていくことが大切だと思っています。減便せざるを得ない路線が生じており、皆さんに大変なご不便をおかけしている中ですが、皆さんには、例えば週に1回でもバスでお出かけし、バス停まで歩いて健康づくりに役立てていただくなど、生活の中で少しでも公共交通を使ってもらい、一緒に守っていくとうれしいです。

大好きな バスの運転で 移動を支える

子どもの頃から乗り物に興味があり、車の運転が好きになったこともあって、バスの運転に必要な大型二種免許を取得できる年齢になってすぐに免許を取りました。路線バスの運転手を経て、今は憧れていた高速バスの運転手も務めています。観光で乗られるお客さんともいるので、分かりやすい乗車案内をしたいと思い、自宅でもアナウンスの練習もしていますよ。この仕事は自分に合っていると感じますし、大好きなバスの運転を通して皆さんの生活を支えていることを実感しながら、毎日安全運行に努めています。

仕事の魅力を 知ってほしい

私は所属する営業所で最年少の運転手ですが、運転手がより働きやすい労働環境が整ってきていると思うので、多くの方に仕事の魅力を知ってもらい、若い運転手ももっと増えるといいなと思います。運賃の値上げも予定されており、皆さんに大変なご負担をおかけしてしましますが、公共交通は今後もなくてはならないものだと思うので、皆さんにも一緒に、公共交通を残すということを考えていただけたらうれしいです。

